



飯田市 歴研ニュース

第4回 歴史学オリエンテーションを開催します

今年も歴史研究所では、高校生をおもな対象とした歴史学オリエンテーションを開催します。

「日本史や世界史の教科書で学んでいる歴史は、自分の住んでいる地域とどんな関係があるのだろうか？」

「歴史の本や教科書を書いているのはどんな人たちののだろうか？」

「古文書を間近で見たいなあ」

「将来、専門的に歴史を学びたい！」

こんな疑問や興味をもっている方、オリエンテーションでは飯田下伊那地域をフィールドに研究している研究員と大学教員がお答えします。ぜひ歴史研究所へおいでください！

日程 7月30日（土）
受付 13時30分
開会 14時（17時終了予定）
会場 歴史研究所 研修室

◆日本古代史、そして地域史へ（研究員 北村安裕）

歴史に興味をもってから大学で日本古代史を研究する

までの経緯や、古代地域史研究への思いについて語ります。

◆ミニ講義「日本の古代国家と地方豪族」（東京大学大学院教授 佐藤信）

東京大学大学院の佐藤信先生が、古代の伊那郡や信濃国における地方と古代国家の関わりを中心に、大学の講義形式でお話しします。

◆研究所の紹介・Q&Aコーナー

現在研究所で保管・調査中の古文書を素材として、史料から事実へと接近するプロセスを解説します。

また、研究所内の施設や調査・研究の方法についてご案内します。

Q&Aコーナーでは、大学での歴史研究の方法や、地域の歴史の調べ方など、具体的な質問にお答えします。

史料紹介

宮下家「わか家の日記」

— 28年間書き続けられた日記史料 —

高森町山吹の宮下道彦さんのお宅には、父宮下功（1899～1972）さんが30年近く書き続けた60冊余の日記が遺されています。昭和18(1943)年9月、下久堅国民学校長であった宮下功さんは、長野県が派遣した満洲国教学奉仕隊の旅から戻ると埴科地方事務所教学課長となり、一家は長野市に移りました。翌昭和19年1月1日から『わか家の日記』が記されます。この年の日記はクレヨンやペンで巧みに描かれた挿絵とともに、1日の出来事が簡潔にまとめられています。家族が揃って書いた日もあれば、父功さんのペン字が続くこともあります。1日1頁の記録から当時の暮らしぶり、時代のひとこまを映し出します。昭和20年12月、宮下功さんは人事異動で松尾国民学校長となり下伊那に戻ります。昭和22年4月の飯田大火では、下伊那教育会代表と長野県教員組合執行委員長として罹災者救援のために奔走しましたが、昭和24年3月51歳で教職を退き、山吹村公民館長、収入役などを務めています。

毎日丹念に書き続けられた日記は、日常生活の細部と一人の内面をも見事に映し出します。日記は歴史を語る上で欠かすことのできない重要な史料です。



昭和19年6月5日の日記。

この日、屋代中学校2年の道彦さんは4泊5日の勤労作業に動員され、山王小学校3年の信彦さんは運動会、父功さんは視察行。

2011年度 研究計画を紹介します

I. 基礎共同研究

1. 基盤調査		
1-A	下伊那地域における近世・近現代史料の所在状況に関する悉皆的研究	竹ノ内雅人
1-B	聞き取りによる史料調査	池田勇太
1-C	下伊那地域における近世・近現代史料の拠点型・現状記録調査および採集調査	竹ノ内雅人
1-D	飯田・下伊那地域における歴史的建造物の所在状況および現状に関する悉皆的調査研究	伊藤毅・金澤雄記
1-E	アーカイブズ、とくに行政非現用文書の保存・活用	池田勇太
1-F	他地域に伝来する飯田下伊那関係歴史資料の調査・研究	吉田伸之
1-G	伊那郡・信濃国における古代史料の研究	北村安裕
2. 課題研究		
2-A	学校所蔵史料の悉皆的調査および研究方法について	多和田真理子
2-B	下伊那の戦時体制資料調査	池田勇太
2-C	伊那郡における千村氏預所の地域社会構造と支配に関する総合的研究	吉田伸之
2-D	戦後期及び1960年代における飯田・下伊那の社会経済に関する総合的研究	本島和人
2-E	満州移民を送出した飯田・下伊那の地域社会の分析	本島和人
2-F	飯田城下町の空間復元的研究	吉田伸之
3. 単位地域プロジェクト		
3-A	飯田・上飯田	多和田雅保
3-B	座光寺	多和田真理子
3-C	南信濃	池田勇太
3-D	清内路	吉田伸之
3-E	部奈	吉田ゆり子

II. 基礎研究

< 顧問研究員 >		
	飯田城下町の社会=空間構造に関する基礎的研究	吉田伸之
	下伊那地方在郷軍人会に関する史料調査と研究	上山和雄
	森本州平日記の研究	加藤陽子
	諏方国成立・廃止（信濃国分国）とイナ（伊奈・伊那）の起源	田島公
	飯田・下伊那の教育・人間形成についての教育社会史的研究	田嶋一
	古墳時代における渡来人の研究	土生田純之
	飯田・下伊那地域の戦後開拓	森武磨
	下伊那地域における諸身分集団の複層構造に関する研究	吉田ゆり子
	兵農分離と地域社会の変容	吉田ゆり子
< 研究員 >		
	近代成立期における社会変革の研究	池田勇太
	古代の伊那郡・信濃国の交通路・官衙・経営体をめぐる複合的研究	北村安裕
	飯田・下伊那地域の寺社と地域社会に関する基礎的研究	竹ノ内雅人
< 調査研究員 >		
	移民送出と外国人労働者、飯田・下伊那地域からの海外移民と人口移動	本島和人
	分村移民の構成と送出過程	本島和人
	近世飯田町と周辺農村に関する基礎的研究	伊坪達郎
	戦前期飯田町の社会経済史	田中雅孝
	近世の上飯田村における土地所有・農業・年貢負担の構造	多和田雅保
	明治期座光寺村における小学校運営	多和田真理子
< 調査研究補助員 >		
	伊那自由大学再考	清水迪夫
< 客員研究員 >		
	飯田・下伊那地域における農村舞台の悉皆的調査研究	金澤雄記
	下伊那と満州移民	齊藤俊江
	近代飯田遊廓の娼妓の生活	齊藤俊江

特集 戦後復興から高度成長へ — 飯田・下伊那の経験 —

敗戦から66年、社会は大きく変容しました。また3.11以後、これまでの日本の在り方と未来が改めて問われています。戦後復興から高度成長の時代を生きた若者たちは、何を経験し、どう考えてきたのでしょうか。飯田・下伊那という場所から具体的に考えてみます。

▼開催期間 平成23年 8月27日（土）・28日（日）

▼スケジュール

- 27日 13:00～ 歴研賞授賞式
- 13:30～ 特集
- 28日 9:30～ 特集
- 11:00～ 研究報告会
— 地域の歴史・文化に関する研究成果の報告 —

▼会場 飯田信用金庫本店大会議室

▼特集報告者

- 森武磨（神奈川大学）／大門正克（横浜国立大学）
- ／小林恭之助（飯田市）／大串潤児（信州大学）

第9回 飯田歴研賞2011 候補作品を募集します

飯田市地域史研究集会

歴史研究所では、飯田・下伊那の地域史研究における優れた作品を発掘するため、「飯田歴研賞2011」の候補作品を募集します。

皆さんの推薦により候補となる作品を選出し、審査後に受賞作品が決まります。自薦他薦は問いません。ぜひ作品を歴史研究所までお送りください。

飯田歴研賞（2011年度）募集要項

- ◇対象作品 2010年度（2010年4月～2011年3月）に刊行、発表された著書・論文（自費出版を含む）
- ◇応募方法 推薦作品を歴史研究所まで持参するか、郵送してください。
- ◇応募締切り 平成23年8月2日（火）
- ◇審査・表彰 歴史研究所で審査を行い、平成23年度の研究集会で優秀作品を表彰します。
- ◇応募先・問い合わせ 飯田市歴史研究所まで。

歴史研究活動を助成します 2017年申請研究募集

◎応募資格

- 1.飯田市内又は下伊那郡内に住所を有する団体
- 2.大学の卒業論文又は修士論文を作成するための研究を行う者

◎研究期間

平成24年2月まで

◎助成の条件

- 1.飯田・下伊那地域の素材を用いたオリジナルな歴史研究の成果であること。
- 2.新たに得た史料所在情報については、研究所に提供すること。
- 3.研究成果の口頭による発表を所定の時期に研究所で行い、併せて研究所の刊行物を通じて公表することを原則とすること。(やむを得ない理由から、他の刊行物を通じてその研究成果を公表する場合には、飯田市の研究活動の助成による研究成果である旨明記すること。)

◎助成金額

- 1.団体および卒業論文について、10万円以内
- 2.修士論文について、15万円以内

◎申請手続

- 1.提出書類 研究計画書 (HPに掲載)
- 2.提出期間 平成23年7月16日(土)

◎審査方法

歴史研究所研究部が行います。

◎研究論文等の提出

提出期限 平成24年2月29日(水)

◎助成金の交付

助成金の交付は、助成の条件等に関し必要な審査を行い、交付することが適当と認められたものについて、平成24年4月までに行います。

市民研究員募集

飯田・下伊那の地域史研究などを担う研究者を育成するため、ボランティアの市民研究員を募集します。

市民研究員の主な活動

- ☆研究員としての活動期間は2年間
- ☆歴史研究所研究員の指導により研究論文を作成
- ☆歴史研究所の諸活動に参加

募集人数 若干人

応募方法 研究テーマ、研究計画、志望動機を記入し、歴史研究所に提出してください。所定の様式はHPに掲載します。

申込期限 平成23年8月31日(水)

審査 9月末日までに審査結果をお知らせします。

リレーエッセイ

新スタッフ紹介

★ きたむら やすひろ

北村 守裕 研究員



日本古代史専攻。

1979年栃木県日光市生まれ。

東京大学大学院博士課程単位取得満期退学。

この4月から研究員として歴史研究所に着任いたしました。飯田への引越し準備に追われる中で3月11日の震災に遭遇し、電力供給・物流などの異常に右往左往することが13年間の東京生活の締めくくりとなってしまいました。現在も震災にともなう課題は山積みそのまま残されており、原発問題も収束の気配をみせておりません。こうした状況が落ち着き、この国に一日も早く平穏な日々が戻ってくることを、心から祈っております。

さて、私はこれまで飛鳥・奈良・平安時代の土地所有や土地経営を中心として研究を進めてまいりました。「古代」という言葉にはロマンをかきたてる響きがありますが、ほかの時代に比べて少ない史料に基づいて当時の出来事や社会を復元していくことは容易ではありません。そのような中、私は遺跡から出土した木簡や荘園の様子を描いた絵図など、当時の実態を伝えてくれる史料を積極的に活用することで、古代社会の実相にせまる試みをしてまいりました。古代の伊那地域は、座光寺などから東国での出土の珍しい富本銭が発見されたことからわかるように、律令国家成立期には中央との深い結びつきをもち、信濃国の中でも重要な位置を占める地域でした。古代の史料は中央(京・畿内)に偏っていることもあり、地域史の解明は難しい面も持っていますが、遺跡の発掘成果や地形・地名などから得られる情報なども利用しながら、この特徴的な地域の古代史を掘り起こしていけたら、と考えております。3月にこの地を訪れた際には、天竜川と南アルプスの生み出す雄大な自然に圧倒されました。いま、少しずつ片付きつつある自室からは市内のあちこちに点在する桜の樹々が見渡され、のどかな春の空気を満喫しています。この豊かな自然のもとで、少しでも地域に貢献できる研究を進めていきたいと思えます。なにとぞよろしくお願いいたします。

飯田アカデミア 2011

第63講座

歴史学を中心とした専門研究者を講師にお迎え、最新の研究成果を分かりやすく講義します。

講師：町田 哲さん(鳴門教育大学大学院 学校教育研究科准教授)

テーマ：「近世阿波の山と地域社会」

日程：7月2日(土) 13:30~17:00

7月3日(日) 10:00~14:30

講義概要：近世阿波における、山とそれを取り巻く人々の生業や流通について探ります。山に対する資本投下、藩による山林支配といった事象を題材に、山里に生きた地域の人々の営みについて社会的矛盾も含めて考えます。

会場：りんご庁舎3階会議室(飯田市本町1丁目)

受講料：500円(資料代)

どなたでも受講できます。多くの方のご参加をお待ちしております。

◇お申込み・お問い合わせは、電話・FAXまたはE-mailで飯田市歴史研究所へお申し出ください。諸事情により日程等、掲載内容が変更になる場合があります。随時、ホームページ・市広報等でお知らせいたします。ご了承ください。

定例研究会

研究活動促進のため、定期的に公開研究会を開催しています。

6月22日(水)

7月28日(木)

近世飯田町の火災と消防

大平の開発と発展(2)

講師：伊坪 達郎(調査研究員)

講師：清水 迪夫(調査研究補助員)

時間：14:00～16:00

場所：歴史研究所 研修室

地域史講座 飯田・上飯田の歴史

7月23日(土)

講師：吉田 伸之(歴史研究所研究部長)

時間：13:00～15:00

飯田城下の町役人と惣町

場所：りんご庁舎3階会議室

歴研日誌

4月

- 1日 北村安裕研究員(古代史) 着任
- 歴研ニュース51号発行
- 5日 近世史ゼミ「ガイダンス」
- 6日 思想史ゼミ「日高六郎編『戦後思想の出發』(6)」
- 9日 近現代史ゼミ「今年度の計画」
- 15日 木曾斎藤氏より満州関係資料受け入れ
- 19日 近世史ゼミ「災害による年貢減免願い」
- 20日 思想史ゼミ「日高六郎編『戦後思想の出發』(7)」
- 23日 飯田東中学校文書調査
- 近現代史ゼミ「『昭和の記憶を掘り起す』書評と今年度の計画」
- 28日 定例研究会「上飯田水道物語」一池田研究員

5月

- 10日 風越高校特別講義「中馬がもたらしたもの～近世下伊那の産業と流通～」一竹ノ内研究員
- 11日 旧南信濃村役場文書調査打ち合わせ
- 14日 近現代史ゼミ「文献講読・聞き書きについて」
- 16日 『飯田・上飯田の歴史』(仮題)上巻編集会議及び研究会〔東京大学〕
- 17日 風越山を撮ろう実行委員会 写真データ寄贈
- 近世史ゼミ「大蔵大平文書 大平の開発と発展」
- 18日 思想史ゼミ「日高六郎編『戦後思想の出發』(8)」
- 20日 「飯田下伊那における学校史料と地域社会に関する基盤的研究」全体会議(池田研究員・本島調査研究員)〔國學院大學〕
- 21日 多文化共生「歴史的グローバルシティー・飯田市」総合プロジェクト全体会議(本島調査研究員)〔上智大学〕
- 定例研究会「古代信濃国の牧をめぐって」一北村研究員
- 23日 平和資料収集委員会プロジェクト会議出席(池田研究員)〔教育委員会〕
- 25日 地域史講座 飯田・上飯田の歴史シリーズ6「飯田・上飯田の御用水」一竹ノ内研究員〔羽場公民館〕
- 25～27日 飯田科研追手町小学校調査
- 28日 飯田アカデミア第62講座「地域再生と自治体、住民の役割」一岡田知弘さん(京都大学大学院経済学研究科教授)／特別企画『地域づくり講演会』「グローバル化と大震災の下での地域再生の方向性」／第1テーマ「地域再生と自治体の役割・可能性」／第2テーマ「地域再生と住民の自治力」〔飯田市民館〕

歴研ゼミ

各ゼミでは随時受講生を受け入れています。

New!
新講座

満州移民研究ゼミ

一宮下功『満洲紀行』を読む

飯田・下伊那にとって、日本と中国、さらに東アジアにとって満州移民はどのような位置にあった(ある)のか、どのような意味を持つのか、過去と現在を往還しながら、皆さんとともに考えてゆきたいと思います。

- 開催日 第1回 6月4日(土)
- 場所 上郷公民館 101号室
- 時間 10:00～11:40
- 担当 本島和人(調査研究員)

※第2回以降の開催日時、場所、進め方については、第1回の参加者と相談の上、決定いたします。

■ 場所 歴史研究所 研修室(以下各ゼミ共通)

近世史ゼミ

- 開催日 6月7日・21日
7月5日・19日(第1・3火曜日)
- 時間 19:00～20:40
- 担当 竹ノ内雅人(研究員)

思想史ゼミ

- 開催日 6月1日・15日
7月6日・20日(第1・3水曜日)
- 時間 19:00～20:40
- 担当 池田勇太(研究員)

近現代史ゼミ

- 開催日 6月11日・25日
7月9日・23日(第2・4土曜日)
- 時間 17:00～18:40
- 担当 田中雅孝(調査研究員)

建築史ワークショップ

- 開催日 6月14日/7月12日
(第2火曜日)
- 時間 19:00～20:40
- 担当 金澤雄記(客員研究員)

催事スケジュール

日	月	火	水	木	金	土	
6月			6/1		3	4	
			NL52発行 思想史ゼミ	2	南信濃 調査合宿～5日	満州移民研究ゼミ	
5	6	7	8	9	10	11	
		近世史ゼミ				下巻研究会 近現代史ゼミ	
12	13	14	15	16	17	18	
		建築史 ワークショップ	思想史ゼミ				
19	20	21	22	23	24	25	
		近世史ゼミ	定例研究会			近現代史ゼミ	
26	27	28	29	30			
7月						7/1	2
3	4	5	6	7	8	9	
63thアカデミア		近世史ゼミ	思想史ゼミ			63thアカデミア	
10	11	12	13	14	15	16	
		建築史 ワークショップ				南信濃調査合宿～18日	
17	18	19	20	21	22	23	
		近世史ゼミ	思想史ゼミ			地域史講座 近現代史ゼミ	
24	25	26	27	28	29	30	
				定例研究会		歴史学 オリエンテーション	
31							

開所日 休所日

開所時間 午前9時～午後5時

休所日 日曜日、月曜日、祝日、12月29日～1月3日